

めざす姿、独自の姿勢に向けた方向性について

これは、博物館事業、美術館事業の取組の方向性の検討資料として示しています。

1 都市川崎の変遷を伝え、市民と未来を共有する博物館、美術館

(1) 現在の川崎の次世代への継承

- 現在の川崎の世相を反映した資料や作品の収集・調査・研究に取り組むことにより、現在の記憶をアーカイブし、時代の変遷とともに変貌し続ける川崎の姿を次世代に継承します。
- 被災した収蔵資料の修復過程や修復完了資料等を公開し、被災の経験を次世代に継承します。

(2) 市民の課題解決意識の醸成

- 環境問題などの負の側面も含めた歴史を財産として捉えとともに、現在を起点に過去を余すことなく振り返ることにより、市民が現在の都市川崎が抱える課題を認識し、一人ひとりがより良い未来を考えることのできる取組を行います。

(3) 都市川崎への誇りと愛着の醸成

- 市民生活に重きを置きながら、都市川崎の過去や成り立ち、市域の多彩な文化や多様な地域性の魅力を伝えとともに、川崎市とゆかりのある全ての人が自らの軌跡を発見できる取組を行うことにより、都市川崎への誇りと愛着を醸成します。

2 人と人をつなぎ、市民とともに成長・成熟する博物館、美術館

(1) 持続的に発展する施設づくり

- それぞれの地域の歴史や文化に根ざした川崎らしさを大切にし、地域資源を磨き上げていくとともに、都市川崎の成長・成熟化に的確に対応できるよう、時代とともに登場する新たな作品や表現手法などを積極的に取り扱うなど多様な価値観を尊重します。また、年齢、性別、国籍、障害の有無等に左右されないことがないよう、社会的障壁を取り払い、市民一人ひとりが尊重され能力を発揮できる環境を整備することにより、持続的な発展を続け、市民に永く愛される施設づくりを行います。

(2) 知識や技術、経験等の次世代への継承

- 館単独ではなし得ない発見、成果、伝承や普及につながる活動や、世代間交流を生むきっかけとなる活動などを、市民や施設に係る人たちなどの連携・協働による調査研究・教育普及活動として実施することにより、知識や技術、経験のほか、地域の発展や変遷、人々の生活や文化を次世代に継承します。

(3) コミュニティの形成と活性化

- 地域コミュニティの希薄化が課題となっている現代において、あらゆる人に開かれ、誰もが文化芸術に触れることができる環境を整備することにより、人と人との多様なつながりを確保するとともに、新たな交流を生み出し、コミュニティの形成と活性化に寄与します。

3 文化芸術の発展や向上に寄与し、その魅力を発信する博物館、美術館

(1) 文化芸術活動の振興

- 市内の文化芸術活動をより一層振興するため、考古、歴史、民俗資料や川崎市ゆかりの作家の作品を中心とした収集・調査・研究に取り組み、その成果を市民へ還元するとともに、多彩な文化、優れた文化芸術に触れることができる取組を行います。

(2) 川崎市域全体の文化芸術の魅力の増進

- 資料等のデジタル化や先進技術を積極的に活用した市民が楽しめる展示に取り組むとともに、市内の文化施設などとの連携事業による地域の活性化など、都市川崎の文化芸術の魅力の増進を図ります。

(3) 文化芸術に触れることができるまちづくりへの寄与

- 市民を中心に創作・表現活動の場や交流の場を提供するなど、本市ゆかりの作家の育成及び文化芸術活動の支援を行うとともに、文化芸術の楽しみを伝え、その担い手を育成し、その魅力を発信し続けることにより、文化芸術の活性化やすそ野の拡大につなげ、誰もが文化芸術活動に触れることができるまちづくりを推進します。

4 誰もが文化芸術を楽しみ、学び、好奇心を抱くことができる博物館、美術館

(1) 文化芸術が有する創造性と多様性の普及

- 年齢や性別、国籍、障害の有無に関わらず、誰もが川崎の歴史や文化を学べ、文化芸術を創造・体験できる取組を通じて、文化芸術が有する創造性と多様性の魅力を普及します。また、それらの取組を通じて、文化多様性を伝え、多文化共生社会に対する理解が深まるような事業を展開します。

(2) 文化芸術を支える人材の育成

- 市内や近隣の教育機関と連携した本市の歴史や文化に係る学習プログラムの実施や、若い世代が関心を持ちやすい、時代の潮流に乗ったテーマを扱うなど、幅広い文化芸術活動に対応した教育普及事業を展開することにより、次代の社会を担う子どもや若者の好奇心を刺激するとともに、若い世代の都市川崎への理解を醸成し、創造力や表現力の向上に寄与し、地域の文化芸術を支える人材を育てていきます。